



【国①分会・篠崎 弘】
10月19日(日)、前日より小

ル1階マルチパーザスペースで「原爆と人間展」と人間展&高校生の絵展」が開催され、私は受付要員として参加のかたわら、展示物を見た。

同制作による「原爆の絵」があった。それは、皮膚がはがれて垂れ下がった腕を前に出して歩く、灰をかぶつた被爆者であった。その絵や他の展示写真を目の前にしたとき、私は激しい怒りが自分自身の内側から湧き上がってくるのをほっきりと感じた。被爆者に対して政府は何をしたか。不完全で数少ない救済制度や救済活動。戦争につながる自衛隊の戦力増強を、もっともらしい理由をつけて正当化しようとする態度。これ現しなければならない。

永遠の平和を望む —原爆と人間展を見て—

らすべてが情けない。
いったい私たちに何ができるだろう。戦争を二度と繰り返さないことがで

きる。ついでに、いままだに戦争を行なっている国がある。まったく嘆かわしいことだが、これは現実だ。

何度も言いたい。あの戦争による悲しみを二度と繰り返してはいけない。あの忌まわしい戦争を。

世界中の人々は、平和運

動を推進し、原水爆禁止運動を行なって、それぞれの政府に対して働きかけるべきだ。

そうして永遠の平和を実現しなければならない。

呻きが聞こえてくるような「ああ！ 幽霊だ！」

高校生との共
体験証言者と
靈だ！！とい
う題名の被爆

足も早めに宿の奥利根温泉
ホテルサンバードへ。夕食と入浴後カラオケを楽しみ就寝。次の日は、りんご園

入り線の事故渋滞でバスの到着が1時間ほど遅れるとい

うハピニングがありました

が、車内は宴たけなわ、一

路みなみ町へ。昼食の後は谷川岳ロープウェイへ。

店立寄りを楽しみました。

特に、りんごは、あかぎ、

陽光、新世界などどれも群馬県作出の品種で、いずれも

と入浴後カラオケを楽しみ就寝。次の日は、りんご園

入り線の事故渋滞でバスの到着が1時間ほど遅れるとい

うハピニングがありました

が、車内は宴たけなわ、一

路みなみ町へ。昼食の後は谷川岳ロープウェイへ。

店立寄りを楽しみました。

特に、りんごは、あかぎ、